

2026

5/15

金

演題

見えない怖さ、腹部大動脈瘤

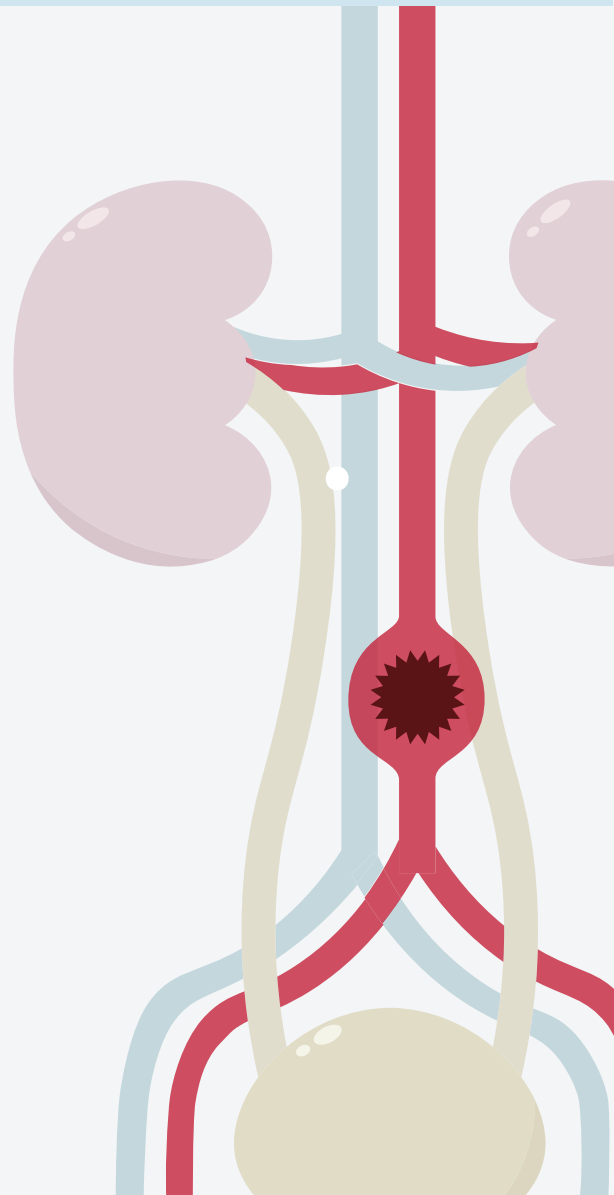
— 腹部大動脈診療の最新の知見 —

講師

心臓血管外科
准教授 岩橋 徹 医師



腹部大動脈瘤は動脈硬化疾患の増加に伴い増加傾向にあり、突然死のうちの1-2%と言われていています。近年、健康診断での腹部超音波検査や他疾患でもCTを行う頻度が高くなったため、発見率が高くなりました。しかし、破裂寸前まで症状がほとんどなく、痛みを感じた時は切迫破裂や破裂状態であり、著しく死亡率が高くなります。そのため、早期発見と適切な治療が重要です。当院では、各治療の長所、短所や、患者さんの遠隔期予後を考慮し、内科治療、開腹手術、カテーテルを用いた低侵襲血管内治療など、一人ひとりの状態に応じた適切な治療を行っています。今回の市民公開講座では上記疾患について、詳しい解説をさせていただきます。



日時 2026年5月15日(金) 開場 17:00 開演 17:30 ~ 閉演 18:30(予定)

会場 東京医科大学病院 本館 9階 臨床講堂 (最寄駅:丸ノ内線 西新宿駅)

申込 事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。

※尚、座席数に限りがございます(360席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。